



創造・参加・実践

West・Bus News



西日本旅客鉄道労働組合
西日本 JR バス地方本部
〒530-0012
大阪市北区芝田2丁目1番18号西阪急ビル8F
TEL (NTT)06-6373-0315 (JR)071-4585
email shugi@jv-union.jp
発行責任者 矢田 尊弘
編集責任者 山口 裕之

「2024年安全を誓う新春の集い」を開催！

2024年を迎え、西バス地方本部は1月15日(月) 12時30分からサード・プレス弥生にて「支部・分会代表者会議」共済担当者会議「2024年安全を誓う新春の集い」を開催されました。

また、「2024年安全を誓う新春の集い」の来賓として、JR連合より石川政策局長、中央本部から上村執行委員長、田中組織・調査・福祉対策部長、西日本ジェイアールバスサービス労働組合から岡村執行委員長、明治安田生命より宮本法人営業部長、近畿労働金庫から数谷梅田支店長、阿部梅田支店営業部門、西日本ジェイアールバス(株)から、北野代表取締役社長、森下常務取締役、丸岡総務部長、吉見勤労厚生課長、堀越勤労厚生課主任、若越しんじ、笹井書記長が司会を務め進行されました。

先ず主催者を代表して、矢田執行委員長より新年早々の元日の夕方に能登半島を中心とした甚大な被害をもたらした地震が発生したことに対してお亡くなりになられた方々にお悔やみと、寒いなか、未だ余震の続く不安なか、被災に遭われた方々に一日も早い復興と皆様の健康をお祈り申し上げるとして、①更なる職場からの安全の確立について、できているようでできていなかったアサーションの徹底「A」当たり前のことをB馬鹿にせずC「ちゃんとする」のABC運動を推進する。②2024春闘について、3年半にも及ぶコロナ禍の影響で生活は激変した。今後は反転攻勢に向けて精一杯の取り組みを実施すると同時に、離職防止に向けて「人材への投資」を強く訴えていき今年度は正念場の年と位置付けて精一杯取り組んでいく。③労働組合の存在感を示して魅力と求心力のある西バス地方本部を目指して、改めて組合員に信頼される魅力のある組織を創らなければならない。コロナ禍で多くの離職者や各種共済の脱退が相次いだことに対してより一層組合員に寄り添い対話を大切にきめ細やかな対応で組織の充実強化の取り組みをしていかなければならない。④政策実現に向けた取り組みについて、バス産業の課題をはじめとした交通政策は、政治と密接に関係している。政治は無関係であっても無関係ではいられない。これまでもバスの利用促進や持続可能な地域公共交通の構築に向けて組織内議員に働きかけを行ってきた。今後も税制や社会保障のあり方など労使だけでは解決できない課題に対して仲間の議員と共に連携していき、と4点の主要課題について挨拶がされました。

次にJR連合石川政策局長より、現在のバス産業が置かれている状況、他産業に比べて賃金が割安で労働時間も割長なことや運転士・整備士不足の問題をしっかりと国や自治体に訴えていくので今後も引き続きJR連合に対する支援と協力をおねがいしたいとの挨拶がされた後、JR西労組中央本部の上村執行委員長より、日頃からJR西労組を最前線で支えて頂いていることに感謝を申し上げると同時に年末年始の輸送も地震はあったが、無事に完遂していただいたことに感謝を申し上げる。安全については、鉄道とバスの安全と働く者の安全を皆さんとともに創る決意を固めたい。2024春闘については、これまでコロナ禍の影響と物価高もあり生活は激変してきて今後JR産業はどうなっていくのか不安もある中、夢や希望が持てる春闘にしていききたい。

また、組合員とのつながりを取り戻し、仲間づくり、助け合い・支えあう労組本来の役割を発揮する年としたいと挨拶を頂きました。次に明治安田生命より宮本法人営業部長から、普段から家族支援共済への加入促進の取り組みへの感謝とJR西労組だからこそできる家族支援共済のしくみについてあいさつがされたあと、近畿労働金庫の数谷支店長より新たな労働金庫の取り組みであるライフエールと積立新NISA商品説明がされたあと、こくみん共済coopの田口課長より能登半島地震で被害に遭われた方々へお悔やみと被災された家屋の保障などができる「住まいの保証」について挨拶がされました。

最後に西日本ジェイアールバス(株)北野代表取締役社長より西労組組合員のみならずにおかれましては、安全を最優先に、みずからの健康管理に努めながら日々の業務に尽力いただいていることに御礼申し上げます。また、年末年始の多客輸送を大きな事故もなく無事に完遂いただいたこと、そして柔軟な続行便対応にご協力いただいたことにも感謝申し上げます。

2023年を振り返ると、健康起因による事故の発生からのスタートをした1年ではありましたが、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことを契機にご利用状況が大幅に回復するなか、明石海峡大橋開通及び阿波エクスプレス号開業25周年を記念した特別便の運行、大阪地区営業所の統合、大阪周遊観光バス「なにワンド」の運行開始など、それぞれの箇所において高速線の続行便や貸切便の運行に最大限のご協力をいただいたおかげで、収入は事業計画を上回る状況で推移しており、これまで長く続いた厳しい状況から脱却したといえる状況まで回復しました。あらためて感謝を申し上げます。

2024年は、大阪地区営業所の統合効果の最大化、うめきたエリビアのさらなる発展、北陸新幹線の金沢敦賀間開業など、多数の取り組みが課題とトピックを控えています。さらに2025年大阪・関西万博が目前に迫り、それに伴う工事輸送が本格化することもあり、本年は当社が関西と北陸から日本を盛り上げていく年といっても過言ではありません。

今後のさらなる需要回復を見据え、引き続き組合員のみならずが当社で安心して長く働けるよう、賃金制度をはじめとしたさまざまな改善策を実施するだけでなく、採用競争力の強化を図るなど、ともに働く新たな仲間を迎え入れるための準備も積極的に実行していきます。

この「安全を誓う新春の集い」を契機に再度安全最優先の決意を新たにし、バス事業の早期黒字化に向けて労使一体となつてともに頑張っていきたいと思いますと挨拶がされました。

能登半島地震の早期復興を願って！



近畿労働金庫
梅田支店営業部門
阿部 茉奈美

こくみん共済coop
大阪市東推進課
後藤 和

共済担当者会議
2024年1月22日開催

西日本旅客鉄道労働組合
西日本JRバス地方本部

「共済担当者会議」
開催される！
新春の集いと同じ、前段において、毎年恒例となりました、地方本部・共済担当者会議を開催しました。

14時から鈴木福祉対策部長の司会により始まり、明治安田生命保険相互会社、宮本担当法人営業部長の家族支援共済と特約制度の活用について、こくみん共済coopから、大阪市東推進課の後藤様(西バス担当)による「住まいの保障」住まいの共済の説明、マイカー共済のご案内がされた後に近畿労働金庫梅田支店営業部門の阿部様(西バス担当)より労金無担保ローン(ライフエール)、積み立てNISAのご案内をして頂きました。今後各役員は、今回参加した内容を職場集會などで「少ない掛け金で安心した生活」で助け合いである共済などの加入促進に向け世話役活動に役立ててくださいます。